

H O YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
(編集) 教区基推委広報部

1996. 1. 97号

「復興へ向け貫く年」

元旦会で輪番あいさつ

一月一日、午前七時から、つをかわして乾杯した。恒例の元旦会が神戸別院本堂で厳修された。正信偈のお勤めの後、ご流盃を総会所に移動して、参詣者約四十人に龍谷盆が配られ、清酒が注がれて新年のあいさ

年あけましておめでとうございませう。こうして新しい年を迎え思う句に「ござい」とし、貫く棒の「ごときもの」これは高浜虚子の晩年の句と言われている。別の人の句に「寄るばかり引くことのない年の波」と言う句もございませう。ございませう、去年から今年へと年が改まったところで、何も変わりはないのが世の常である。このような気持ちを歌ったのでしよう。もう一つ、寄るばかり、こ



総会所でのご流盃

いろいろなことをこの縁を通して学ばせて頂いたこととです。私たちが平生支えにし、頼りにし、あてにしていたことが根底より覆された事実。あれこれ思い起こすと私たちが本当にこの支えになるもの、頼りにするものが一体何であったのかを気づかせて頂いた一年であったと思えます。

阿弥陀経の中に共命鳥という鳥が出てまいります。この鳥は体が一つで頭が二つ。隣りの頭が邪魔で隣をよつつけると体は自分のものになると考えるのですがよくよく考えると自分も死んでしまうことに気づくという例えがあります。この共命鳥とはこの私自身の姿ではないかと思うことです。地球という一身の上で国と国、家庭という一身の中で妻と夫、親と子が争う。しかし、現実には相手を倒したとき自らもまた倒れてゆかねばなりません。つまり、私たちは無数の「いのち」に支えられて自らのいのちが保たれているということ。すべてのいのちが共に生きるいのちであるというのが仏さまの教えであると気づかされ、教えられたこととです。(二面に続く)



昨年末、門徒の女性が八十五歳で亡くなった。この女性はいわゆる老人性痴呆症であった。

初期の頃は少々物忘れがひどいとか、おかしなことを言うくらいであったが、最後の半年程は自分がどこにいるのか、家族の顔すらわからないこともあったらしい。

◆一般に老人性痴呆症には二つの型があり、一つは、脳の血管障害からのものと、もう一つはアルツハイマー型という。前者は動脈硬化が原因であるが後者の原因はよくわかっていない。もともと日本人には少なかつたため欧米型の食事が関係しているのではとされている。◆いずれにしても肉体的精神的な老化現象であるが、ある精神科の医師は「人間本来もつ本能の一つだ」という。これは近づきつつある死への無意識の抵抗、もっと具体的にいうと、より現実的なものとなった「死への恐怖」に対する潜在的逃避という訳だろう。◆「要求の強い姑だったが最後は私にまかせっきりで、赤ん坊の様だった」とは嫁の言葉である。(曾根眞正)

教区だより 1・2月			
30日(火)	布教使育成研修会		10時半
2月3日(土)	第一土曜仏教講座	吉川孝臣師	1時半
3日(土)~4日(日)	ビハーラ活動全国集会		別院
6日(火)	兵庫教区点検糾弾会		別院
7日(水)	如月忌		本山
8日(木)	近同推研修会		大津
8日(木)~9日(金)	近畿ブロック所長・議長・組長会		奈良
14日(水)	永代経開闢法要		1時半
15日(木)~16日(金)	別院常例法座	竹内俊之師	1時半
17日(土)	教区若婦人の集い		別院
15日(月)~16日(火)	別院常例法座	堀川宣裕師	1時半
17日(水)	阪神・淡路大震災物故者1周忌総追悼法要	本山	
18日(木)	第3回ビハーラ活動全国集会幹事会		1時半
19日(金)~23日(火)	やさしいから人なんです展	神戸デュオドーム	
20日(土)	阪神・淡路大震災物故者1周忌総追悼法要		1時半
23日(火)	第3連区門徒総代会代表者会	京都	
27日(土)	保育連盟研修会	別院	
28日(日)	教区仏壯大会		12時半
29日(月)	寺婦委員総会		10時半

2月6日

解放同盟と点検糾弾会を実施

平成五年から平成七年にかけて教区内で連続して差別問題が起きていることに對して、部落解放同盟中央本部より宗派への「糾弾会」を受けている最中であるが、各教区と各都府県連の「点検糾弾会」が実施されることになり、兵庫教区では兵庫県連と岡山県連との調整

2月17日に

若婦人の集いを別院で

教区仏教婦人会連盟(木村久子委員長)では来る二月十七日、第八回若婦人の集いを本願寺神戸別院一階の研修ホールで午後一時から四時までの日程で開催いたします。テーマは「仏教婦人(若婦人)への願い」で講師には仏婦総連盟講師でもある久堀弘義師(神戸湊組行願寺)をお迎えして、対象は五十歳未満の仏教婦人、参加費は一人千円、募集人数は五百人、申込みは参加費を添えて二月五日までに組委員(組会長)へお申込み下さい。

平成8年度版

ダイナ手帳残部あり

お申込みは早く

先月号で紹介しました例年好評の教区仏婦連盟製作の「ダイナ手帳」はまだ残部がありますので、ご購入用の方は教区仏婦連盟事務局まで電話かハガキにてお申込み下さい。

「佛の心に遇う」

杉本願俊師

著者は阪神北組光岡寺に生まれ、龍谷大学予科を経て金沢大学医学部を卒業された。住職を四十年勤めた医学博士である。現在は前住職となり、布教活動やボイススクアウト関係、宝塚地区の保護司を勤められている。

内容は四十八願を一つ一つ解き、各章の終りに「短



歌とご本願」を紹介している。「科学時代の現代人にも充分受け入れられるよう、現代の科学的思考と矛盾のない解釈と理解を目指した」とあとがきされている。(A5版三百六十ページ・定価三千円。探究社)

納骨所使用懇志が変更

平成八年一月一日より納骨所使用懇志額が次の通り変更されました。

特別区画	三百六十万円
普通区画	百八十万円
小型区画	六十万円

建設懇志進納総額 二十億八千二百一十七千三百二十八円(90%)
(95年12月31日現在)

お扱いの申請お早めに

平成八年三月三十一日をもって建設費が閉鎖されます。これによって、永代経扱いの院号は別院で取り扱われなくなります。現在ご懇志をご進納いただき、お扱いが保留になっておられるご寺院があります。永代経扱い・物品扱いともにお早めに申請いただきますようお願い申し上げます。

なお、院号扱いは本山に準じて平成七年十月一日より変更実施(十五万円以上が二十万円以上)しております。

豊原総務被災寺を巡回

5カ寺の復興計画

現状厳しく問題は山積

十二月二十六日、小雪の舞う中、災害対策現地本部の本部長である伊井総務の予定を急遽豊原総務が代行して神戸市内の被災寺院の巡回が実施された。

本山からは松村庶務部長、長岡社会部長、教区からは土基教務所長、田中教区会議長、山本組長会長、神戸東組長、神戸西組長が同席し五カ寺を巡回した。

まず、神戸東組光圓寺(四茂野尚樹住職)では、地震後早くから救援・支援のための拠点として(六甲庵がこの境内にある)協力いただき、現在は仮設のプレハブに居住されている。ここは六甲道駅西側震災復興土地地区画整理事業が決まり震



神戸西組 普賢寺を巡回

災復興促進区域である。次に同組妙善寺(上田泰朗住職)へ。こちらにも兵庫教区救援隊(青年僧侶の会・少年連盟他)の活動拠点として協力いただいたところで、近隣は灘の酒蔵で被害は甚大、現在は仮設プレハブが建ち、十二月三日に復興委員会を結成したところではあるが復興の内容については白紙の状態であること。次に神戸西組普賢寺(北村頭昇住職)へ。こちらは全焼され現在は更地のままの状態。震災復興促進地区であって、借地や保証人の問題で苦慮されている。次の同組本誓寺(藤猪英

鐘の音絶やさず 被災寺でも除夜会

呼びかけに7カ寺が実施

阪神・淡路大震災災害対策現地本部では、十二月三十一日大晦日に震災後、復興に向けて努力した一年を振り返るとともに、新年を迎えられることに感謝し、今後も復興に向かって更に力強く歩もうとの思いを共にしようとの目的で被災地除夜会を企画し、被災組に呼びかけたところ神戸別院を含め七カ寺の賛同を得て、各寺で勤められた。

賛同いただき実施した寺院は阪神東組祐光寺(小田周誠住職)、阪神西組常宣寺(光森常之住職)、阪神北組浄福寺(岩田教證住職)、神戸東組照善寺(杉本正義住職)、神戸湊組光明寺(山西宏昭住職)、神戸西組金楽寺(藤本周慶住職)であった。神戸別院では鐘楼がない



別院での除夜の鐘

ため前庭に足場を組んで神戸湊組浄徳寺の梵鐘を借用して実施された。午後十一時から除夜会のお勤めのおと、三十分から土基輪番が既に五十人程並んでいる人を前にあいつをし、一打し参加者が順次撞いていった。約八十年ぶりにこの地で梵鐘が鳴るとあって、続々と人が並び、子供からお年寄りまで思い思いに撞き、また、職員が準備した甘酒も大盛況で用意した百五十人分がなくなってしまうほどであった。約一時間二十分にわたって鐘が鳴り響き、新年を迎えた。

年末のところ鐘楼設置については株式会社中道組、清水建設株式会社、戸田建設株式会社の方々にもご協力をいただきました。

(一面より) 昨年の色々な事件を通して私たちは気づかせて頂いたことです。今年またお互いに新しい年を迎えさせて頂いたわけですが、よるべきところ、頼るべきものはまさに仏さまの教え以外にない、これをわが人生を貫く棒として、今年もしっかりとお聴聞に精進させて頂きつつ、多くの方々とともに復興への長い道を一歩一歩ともに歩ませて頂く一年にしたいと思っております。こうしてともに新しい年を迎えさせて頂いたことを喜ばせて頂きつつ、この新しい別院・教化センターを聞法・伝道の拠点としてその役割を果たしていくべく皆様と一緒に力強く歩ませて頂きましょう。どうぞ今年も一年よろしくお願ひ申し上げます。

県知事からも感謝状

HO日誌

◆12月1日(日)ビハーラ活動者交流会を別院で◆2日(月)第一土曜仏教講座を別院で。講師は野々村智劍師(ういず仏教文化研究会主宰)テーマは「お念仏の伝統を考える」◆近畿ブロック保育大



介護指導する大橋師

者会議が本場で。担当職員出席◆成徳学園理事会上土基教務所長が出席◆12日(日)別院竣工報告に土基教務所長が本山へ◆蓮如上人五百回遠忌法要団参事務担当者が打合せ会議に上原賛事が出席◆阪神・淡路大震災で全壊した神戸中組高法寺が起

組長会を別院で。内容は一、本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立総合計画収支現況について、二、本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念法要準備委員会について、三、被災寺院除夜会並びに物故者一周忌追悼法要開催について、四、教化関係連絡事項では来年度の基幹運動計画組員研修や組連研の報告教区点検糾弾会についてなど五、その他では蓮如上人



和やかに祝賀会

法総合施設名称募集要項について。年末年始の事務についてなどが報告された◆豊原大成師総務就任祝賀会を神戸市内の料亭ホテル鈴江で。当日は雪のため大変な中を百人近くの方が出席。松村総長も祝賀会に出席の予定であったが交通渋滞のため間に合わないアクシデントも◆26日(日)阪神・淡路大震災被災寺院巡回院団参が漏れていました。(二面に別記)◆災害対策

謹賀新年

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 浄土真宗本願寺派 | 兵庫教区教務所長 | 本願寺神戸別院輪番 |
| 副輪番・賛事 | 上原 泰行 | |
| 賛事・参勤 | 勝島 徹正 | |
| 教区相談員 | 赤松 法雄 | |
| 主事・参勤 | 北村 昌康 | |
| 主事・参勤 | 安井 秀頭 | |
| 推進委員長 | 菅野 弘和 | |
| 主事・参勤 | 竹内 英昭 | |
| 推進委員長 | 尾井 秀瑛 | |
| 主事・参勤 | 高藤 昭文 | |
| 録事・参勤 | 松崎 了忍 | |
| 録事・参勤 | 岡崎 信明 | |
| 推進委員長 | 内本 隆宏 | |
| 書記・承仕 | 長尾 隆真 | |
| 書記・承仕 | 小野 崇真 | |
| 書記・承仕 | 山崎 崇真 | |
| 書記・承仕 | 泉井 美恵子 | |
| 書記・承仕 | 泉井 美恵子 | |